Hitachi Koki
POWER TOOLS for PROFESSIONAL

取扱説明書

二重絶縁

用途
●コンクリートの穴あけ
●アンカー下穴の穴あけ

日立 ダイヤモンドコアドリル

32 mm DC 32V

このたびは 日立 ダイヤモンドコアドリルをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

【ダイヤモンドコアビットは別売です】

はじめに

使い方

その他

HITACHI

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告　：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意　：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注　：**製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⚠警告

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

⑨ 保護メガネを使用してください。
- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。
- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⚠警告

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申し付けください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

二重絶縁について

電気の流れる所と外観部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。
お求めの製品は二重絶縁をしてあり、銘板に 回 マークで表示してあります。
異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。
電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご用命ください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ダイヤモンドコアドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。

- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。

② 本機は水を使うため、とくに感電に注意してください。

- 漏電しゃ断器を設置して使用してください。
- 作業中は、必ずゴム手袋・ゴム長ぐつを着用してください。なお、破れたり、穴のあいたゴム手袋・ゴム長ぐつは、直ちに新品と交換してください。

②

②

③ 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。

- 埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。

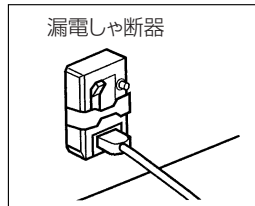
④ 上向きの穴あけはしないでください。

- 本機は水を使用するため、上向きの穴あけは、水がモーター内部に入り、感電の恐れがあります。

⑤ 排水パッドを必ず使用してください。

- 作業中に水が飛散して、モーター内部に水が入り、感電の恐れがあります。

⑥ 穴あけ中は必ず注水してください。

- 注水しないで使用すると、ダイヤモンドコアビットの刃先が破損し、けがの原因になります。

⚠警告

⑦ **使用中は、振り回されないようにサイドハンドルを付け、機体を両手で確実に保持してください。**

- 確実に保持していないと、けがの原因になります。

⑧ **使用中は、回転部や切りくずに手や顔などを近づけないでください。**

- けがの原因になります。

⑨ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。**

- そのまま使用していると、けがの原因になります。

⑩ **誤って落としたり、ぶつけたときは、ダイヤモンドコアビットや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**

- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠注意

① **先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**

- 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

② **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。**

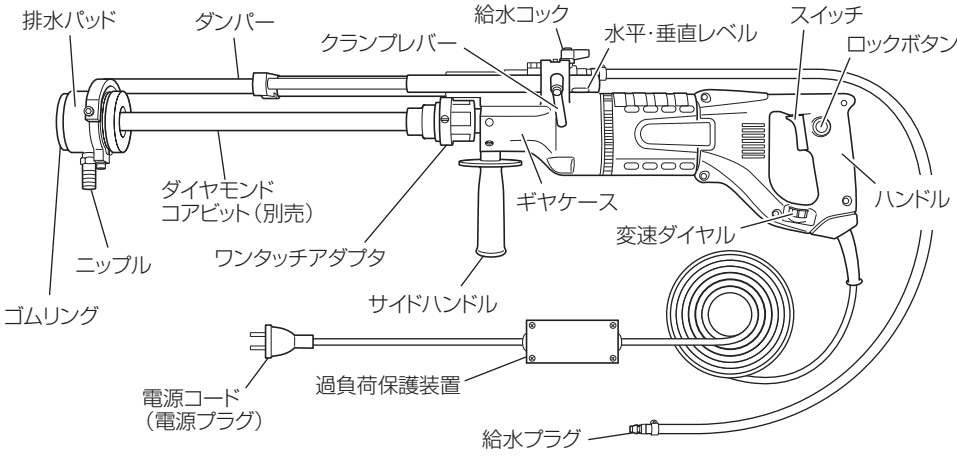
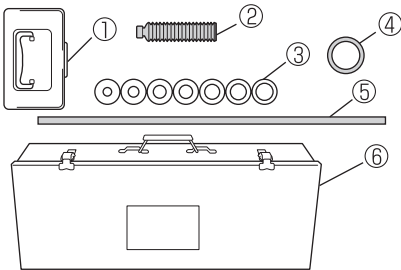
- 材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。

③ **床に穴をあける場合は、階下の人や物に注意してください。**

- 貫通時に残材が先端工具のコア内から抜け落ち、けがの原因になります。
  また、切削水もかかります。

④ **運転させたまま、台や床などに放置しないでください。**

- けがの原因になります。

各部の名称

標準付属品

品　名	個　数
①収納ケース	1 個
②グリース	1 個
③ガイドリング（7 種類）	計 7 個
④ゴムリング（予備）	1 個
⑤コア抜き棒	1 個
⑥スチールケース	1 個

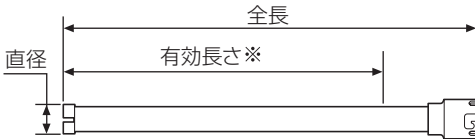
仕　様

形　名	DC 32 V
使用電源	単相交流 50／60 Hz 共用　　電圧 100 V
能力（穿孔径）	16 ～ 32 ㎜
無負荷回転数	2,900 ～ 9,000 min^{-1} ｛2,900 ～ 9,000 回／分｝
全負荷電流	12 A
消費電力	1,140 W
モーター	単相直巻整流子モーター
質　量	6.0 kg（コード除く）
コード	2 心キャブタイヤコード 2.5 m
寸法（ダンパー部を除く）	457 ㎜× 124 ㎜× 210 ㎜（全長×全幅×全高）

はじめに

別売部品

日立電動工具販売店でお求めください。
（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）

ダイヤモンドコアビット

直径（mm）	有効長さ（mm）※	全長（mm）
φ 16	250	365
φ 20	250	365
φ 24	300	415
φ 25	300	415
φ 28	300	415
φ 30	300	415
φ 32	300	415

※ 排水パッド装着時の穴あけ深さ。

ご使用前の準備

●作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

●漏電しゃ断器の設置をおすすめします

ご使用にさきだち、本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置を設置してください。

●延長コードを使う場合

⚠ 警告

延長コードは損傷のないものを用意してください。

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ（mm^2）	最大長さ（m）
1.25	10
2	15
3.5	30

ご使用前の点検

⚠警告

ご使用前に次のことを確認してください。手順 ❶、❷については、電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

スイッチが切れていることを確かめる

- スイッチが入っているのを知らずに、電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。
  スイッチは引くと入り、離すと切れます。
- ロックボタンが押されたままになっていないか、一度スイッチを引き、離したときスイッチが戻ることを必ず確認してください。
  （P 12「スイッチの操作と回転速度の調整」参照）

電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。
また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

3 コンセントを確かめる

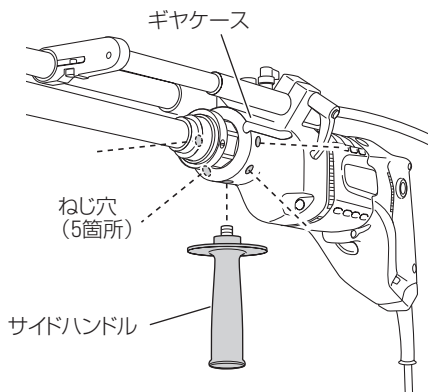
電源プラグをさし込んだとき、コンセントがガタガタだったり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。
お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

サイドハンドルの取付け

⚠注意

サイドハンドルは十分に締付けてください。
締付けが不十分だと作業時の反力を受けきれず、けがの原因になります。

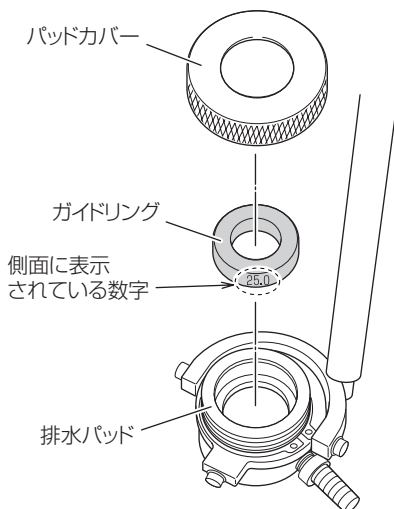
ギヤケースにはサイドハンドルを取付けるためのねじ穴が5箇所あります。

作業に合わせてねじ穴を選び、サイドハンドルをねじ込み、確実に締付けてください。

ガイドリングの取付け

⚠注意

パッドカバーは十分に締付けてください。
締付けが不十分だと、パッドカバー、ガイドリングがはずれ水が飛散し、モーター内部に水が入り、感電の恐れがあります。

パッドカバーを取りはずし、使用するダイヤモンドコアビットの直径に合ったガイドリングを選び、排水パッドに入れパッドカバーを十分に締付けます。

ガイドリング側面に表示されている数字と、使用するダイヤモンドコアビットの径を合わせて使用してください。

ダイヤモンドコアビットの取付け・取りはずし

⚠ 警告

ダイヤモンドコアビットの取付け、取りはずしの際は、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

取付け

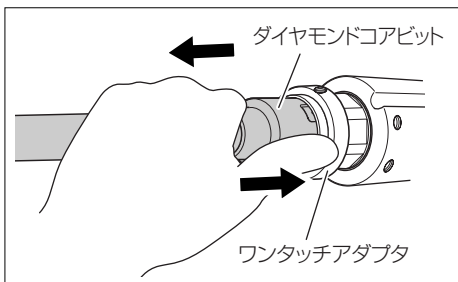
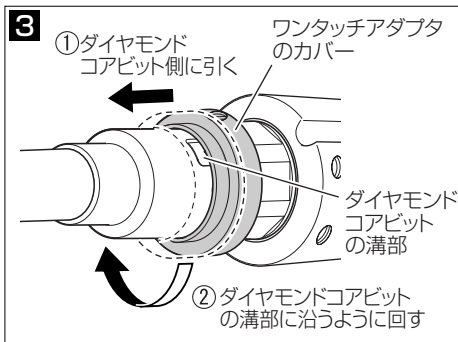
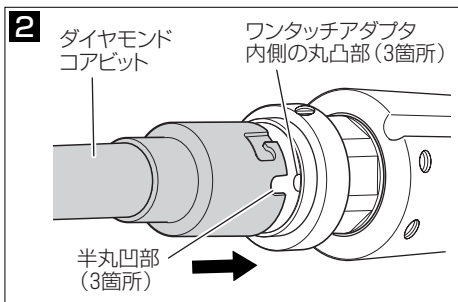
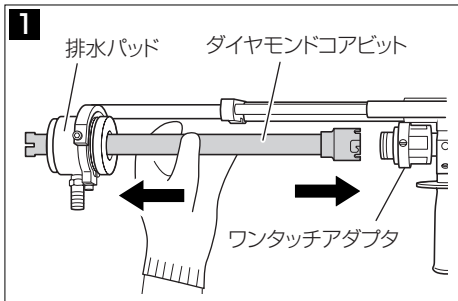
1 ダイヤモンドコアビットの先端を排水パッドに通してから、ワンタッチアダプタに合わせます。

2 ダイヤモンドコアビットの半丸凹部（３箇所）と、ワンタッチアダプタ内側の丸凸部（３箇所）を合わせ、ダイヤモンドコアビットが突き当たるまでさし込みます。

3 左手でダイヤモンドコアビットを保持し、右手でワンタッチアダプタのカバーをダイヤモンドコアビット側に引き上げ、ダイヤモンドコアビットの溝部に沿うように矢印の方向へカバーを回します。
カバーをはなすと、カバーが本体側に戻りダイヤモンドコアビットがロックされます。

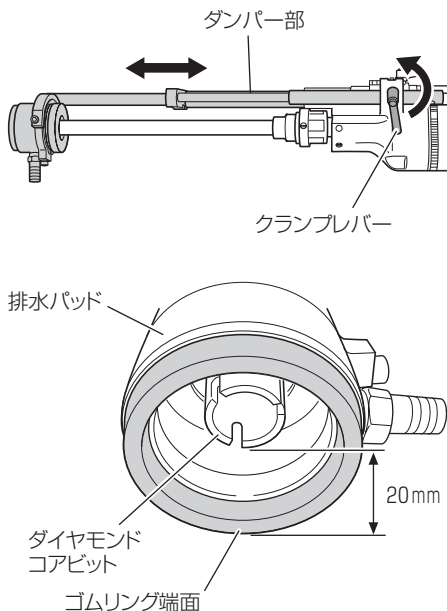
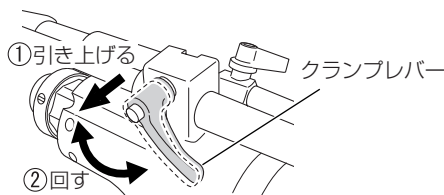
取りはずし

ダイヤモンドコアビットを取りはずす場合は、上記と逆の手順で行ってください。

ダイヤモンドコアビットをワンタッチアダプタから取りはずす際、ダイヤモンドコアビットを握り、親指でワンタッチアダプタを押すようにすると取りはずしやすくなります。

排水パッドの位置調整

1 クランプレバーを反時計方向に回し、ダンパー部を緩めます。

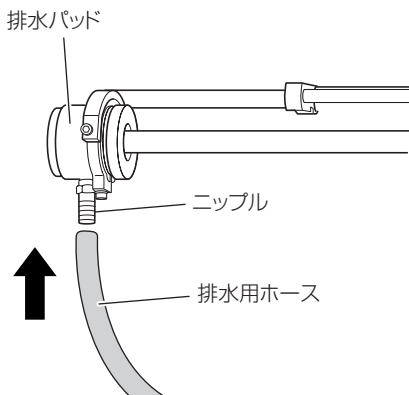
2 ダンパー部を移動させダイヤモンドコアビットの先端が、ゴムリング端面より 20 ㎜程度内側に入るようセットし、クランプレバーを十分に締付けます。

注 **クランプレバーを引き上げて、回すと任意の位置にセットすることができます。**

排水用ホースの接続

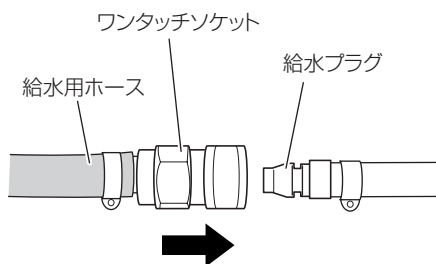
⚠注意

排水はたれ流ししないでください。
コンクリート粉を含んだ排水は強アルカリ性です。

1 市販のホース（適用ホース内径：12 ㎜）を使用して、排水パッドのニップルに排水用のホースを接続してください。

2 排水用ホースの端には、バケツ等で貯水できるようにしてください。

給水用ホースの接続

1 給水プラグに水道からひいた給水用のホースを接続してください。

2 市販のワンタッチソケット（例：日東工器ハイカプラ 30 型）を使用するか、市販のホース（適用ホース内径： 12 ㎜）を直接取付けてホースバンドで固定してください。

スイッチの操作と回転速度の調整

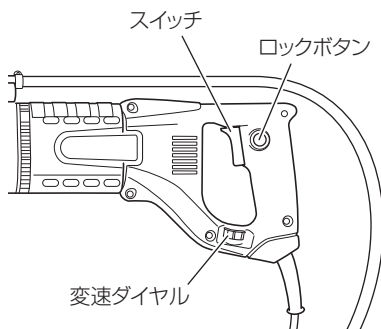
スイッチは引くと入り、離すと切れます。

スイッチを引いた状態で、ロックボタンを押すと、指を離してもスイッチが入ったままになり連続運転になります。

切るときは再びスイッチを引いてから離すとロックボタンがはずれます。

また、ハンドルに回転速度をコントロールする変速ダイヤルが付いています。

変速ダイヤルの調整により、穴あけ材料、作業条件に合った回転数でご使用ください。

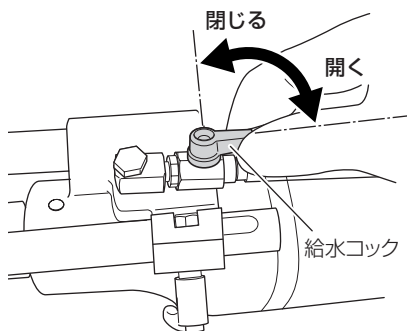
変速ダイヤルの、目盛り A が最低速で、目盛り E が最高速です。

穴をあける

●コンクリートの穴あけ
●アンカー下穴の穴あけ

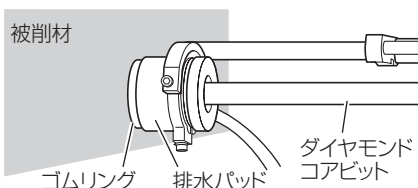
⚠警告

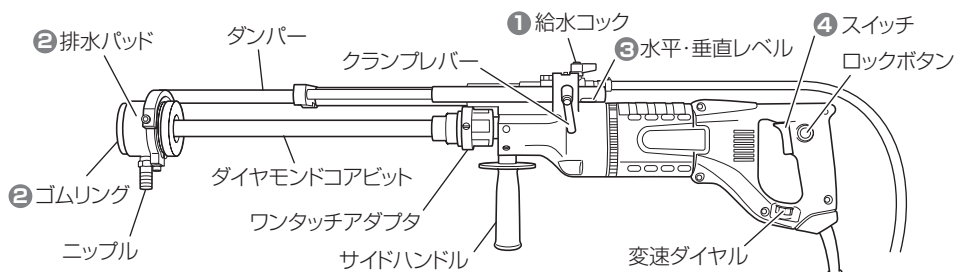
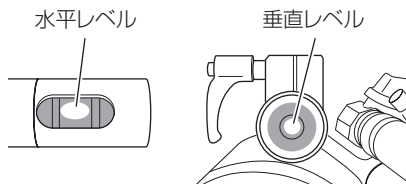
- 穴あけ中は、必ず注水してください。
  注水しないで使用すると、ダイヤモンドコアビットの刃先が破損し、けがの原因になります。
- モーター内部に水が入らないようにしてください。
  感電の恐れがあります。

1 注水する

給水コックを開き流量を調整し注水します。
注水量は０．８Ｌ／分以上必要です。少なすぎるとダイヤモンドコアビットの先端まで水が供給されず、ダイヤモンドコアビットの破損や早期摩耗につながりますので、必ず注水してください。

注 携帯電話について
呼び出し時および通話中の携帯電話で回転が不安定になることがあります。

2 位置決めする

穴あけする位置を確認し、排水パッドのゴムリングを被削材にあてます。
このときダイヤモンドコアビットが被削材に当たらないようにしてください。

3 水平・垂直レベルを調整する

ダンパー後部の水平・垂直レベルにより、穴あけ時の方向（水平と垂直）を合わせます。

4 穴をあける

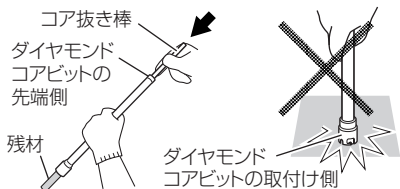
スイッチを引き、ダイヤモンドコアビットの回転が完全上昇してから被削材に押し当て、一定の押付け力で穴あけします。
ダイヤモンドコアビットが被削材の表面を滑る場合は、最初軽い押付け力で被削材に食い込ませ、徐々に押付け力を強くしていきます。

注 **突き抜け穴を加工するときは、穴の抜けぎわに押す力をゆるめてください。**
穴の抜けぎわにダイヤモンドコアビットを変形させることがあります。

5 ダイヤモンドコアビットを引き抜く

穴あけが終わりましたら、ダイヤモンドコアビットを回転させたまま被削材から引き抜いてください。
回転させずに引き抜くと、途中で引っ掛かり抜けない場合があります。

6 残材を取り出す

穴あけが終わりましたら、ダイヤモンドコアビット内に残材が無いことを確認してから次の穴あけを行ってください。
残材がある場合は本体からダイヤモンドコアビットを取外し、付属のコア抜き棒をダイヤモンドコアビット先端側からさし込み押し出します。
ダイヤモンドコアビットの取付け側を叩きつけたりしますと、取付け部が変形し取付けできなくなります。

過負荷保護装置について

本機には、モーターの過負荷を防止するため、過負荷保護装置が付いています。

ダイヤモンドコアビットを強く押し付けたり、穴あけ途中にこじるなど負荷を掛け過ぎると過負荷保護装置が働き、自動的にモーターが停止します。

このときは一度スイッチを切り、再びスイッチを入れ、軽い押付け力で作業を継続してください。

⚠警告

過負荷保護装置が働いたときは、必ず一度スイッチを切ってください。
過負荷保護装置が働きモーターが停止したとき、スイッチを入れたままにしていると、 1～2秒後自動的にモーターが起動します。本体を確実に保持していないと振り回され、思わぬけがの原因になります。

注 **過負荷保護装置を頻繁に作動させないでください。**
モーター故障の原因になります。

ダイヤモンドコアビットについて

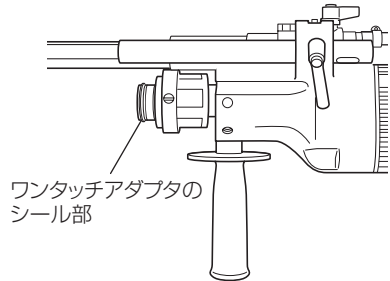
- 石材などの硬い材料に穴あけしますと、切れ味が低下することがあります。切れ味が低下した際は、コンクリートブロックや使用済みの砥石などに穴あけし、ダイヤモンドチップのドレッシング（目出し）をしてください。
- コンクリートブロックや打ち込み日数の浅いコンクリートなどに穴あけすると、ダイヤモンドチップが早期摩耗し、寿命が著しく短くなります。
- コンクリート内の鉄筋に穴あけすると、ダイヤモンドチップが早期に摩耗したり、破損したりする場合があります。どうしても鉄筋に穴あけする場合は、軽く押付ける程度で作業してください。

保守・点検

⚠警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●グリースの塗布

穴あけ作業後は、本体表面の汚れ、水滴等を乾いた布で良くふき取り、ワンタッチアダプタ先端のシール部には付属のグリースを塗布してください。

●ダイヤモンドコアビットの点検

摩耗したダイヤモンドコアビットをご使用になっておりますと切れ味が悪くなりモーターに無理をかけることになります。また能率も落ちますから早めに新品と交換してください。

●本体はきれいに

石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類は変形の原因になるので使用しないでください。

●取付けねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。そのまま使用すると危険です。

●モーター部の取扱について

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

注　**50時間ぐらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングの風穴から吹き込んでください。ゴミやほこりの排出に効果があります。**
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

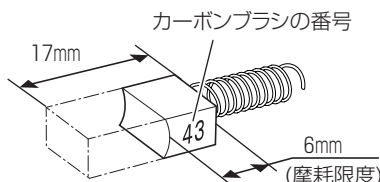
●製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

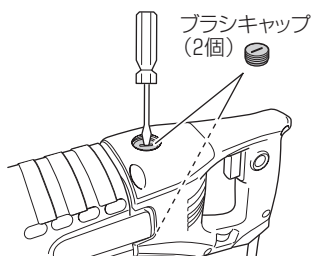
注 **・お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。**
・軒先など雨がかかったり、湿気のある場所には保管しない。
・温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
・引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

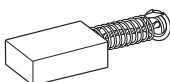
●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度（6 ㎜ぐらい）になりましたら新品と交換してください。
また、カーボンブラシは、ごみなどを取除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。

注 **新品のカーボンブラシと交換の際は必ず図示の番号（ 43 ）の日立カーボンブラシを使用してください。**

●カーボンブラシの交換方法

1 カーボンブラシを取り出す

マイナスドライバーなどでブラシキャップをはずして、カーボンブラシを取り出します。

2 新しいカーボンブラシを取付ける

ブラシホルダの角穴に合わせてカーボンブラシを指で押し込みます。

3 ブラシキャップを取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押さえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

ご修理のときは

この製品は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自身で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。
ご不明のときは、下記の全国営業拠点にご相談ください。また、部品ご入用の場合や取扱いでお困りの点などについても、ご遠慮なくお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　　年　月　日	製造番号(NO.)
販売店（TEL）	

全国営業拠点

■ 日立工機電動工具センターへのご用命は、下記の営業拠点にお問い合わせください。

北海道支店	TEL (011) 896−1740 (代)	〒004−0053 札幌市厚別区厚別中央3条1丁目2番20号
東北支店	TEL (022) 288−8676 (代)	〒984−0002 仙台市若林区卸町東3丁目3番36号
関東支店	TEL (03) 5812−6331 (代)	〒110−0016 台東区台東4丁目11番4号（三井住友銀行御徒町ビル）
中部支店	TEL (052) 262−3811 (代)	〒460−0008 名古屋市中区栄3丁目7番13号（コスモ栄ビル）
北陸支店	TEL (076) 263−4311 (代)	〒920−0058 金沢市示野中町1丁目163番
関西支店	TEL (0798) 37−2665 (代)	〒663−8243 西宮市津門大箇町10番20号
中国支店	TEL (082) 504−8282 (代)	〒730−0826 広島市中区南吉島2丁目3番7号
四国支店	TEL (087) 863−6761 (代)	〒760−0078 高松市今里町1丁目28番14号
九州支店	TEL (092) 621−5772 (代)	〒813−0062 福岡市東区松島4丁目8番5号

「電動工具お客様相談センター」　0120 - 208822（フリーダイヤル・無料）
※携帯電話からはご利用になれません。　（土・日・祝日を除く 午前9：00～午後5：00）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2-15-1（品川インターシティA棟）
営業本部　TEL（03）5783 - 0626（代）

911
部品コード　C99187901 Ō